

\*\*\*\*\*  
【NITEケミマガ】 NITE化学物質管理関連情報 第204号  
2014/07/23配信

\*\*\*\*\*

本メールマガジン【NITEケミマガ】（NITE化学物質管理関連情報）は、化学物質管理に関連するサイトの新着情報、報道発表情報等を配信するサービスです。

原則として、毎週水曜日に配信いたします。

連絡先：[chem-manage@nite.go.jp](mailto:chem-manage@nite.go.jp)

----- 7/17～7/23までの更新情報 -----

---

●製品評価技術基盤機構（NITE）

---

【2014/07/16】

- ・平成26年度(2014年度)知の市場「製品総合管理特論 製品安全対策の基礎知識」後期日程の募集を開始しました。

→ <http://www.nite.go.jp/jiko/kouza/index2014.html>

下記の要領で標記講座を開催します。

日時:平成26年9月30日～平成27年12月24日 毎週火曜日 18:30～20:30

場所:早稲田大学西早稲田キャンパス

定員:80名(東京会場)

申込開始:7月25日(金)予定

申込締切:9月18日(木)13:00

内容:

- ・製品事故の現状と製品安全対策について
- など。第14回目(平成27年1月20日開催)に化学物質管理政策がトピックとして取り上げられる。

---

【2014/07/17】

- ・CHRIPのデータを更新しました。

→ <http://www.safe.nite.go.jp/japan/osirase.html>

主な更新は以下の通りです。

(1)新規情報を追加しました。

○化審法:その他関連情報

・化審法のスクリーニング評価結果及びJapanチャレンジプログラムの評価結果を追加

○労働安全衛生法:関連規則

- ・「危険物」、「特定化学物質等」、「鉛等」、「四アルキル鉛等」及び「有機溶剤」を追加

- ・「特定化学物質等」及び「有機溶剤」のリストを追加

- ・作業環境評価基準の別表に定められた管理濃度を追加

(2)システムの変更を行いました。

- 総合検索のキーワード検索に安衛法官報公示整理番号での検索機能を追加

- 化審法:既存化学物質安全性点検結果(毒性)

- ・英語サイトの詳細情報のリンク先を国立医薬品衛生研究所からJ-CHECKに変更

- ベトナム:化学品法

- ・規制のカテゴリごとに分けていたリストを一覧のリストに変更

- 構造式検索システムの更新

(3)データを更新しました。

- EU(欧州連合):発がん性評価

- ・CLP 規則の付属書VI Table 3.1に基づく分類に変更

---

## ●経済産業省・環境省

---

【2014/07/18】

- ・フロン回収・破壊法に基づくフロン類の破壊量等の集計結果(平成25年度分)を公表します

- ・経済産業省

- <http://www.meti.go.jp/press/2014/07/20140718002/20140718002.html>

- ・環境省

- <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18426>

標記結果が掲載された。

---

## ●厚生労働省

---

【2014/07/18】

- ・第1回化学物質による労働者の健康障害防止措置に係る検討会の開催について

- <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000051219.html>

7月25日に標記会合が開催される。議題は、平成25年度リスク評価対象物

質の健康障害防止措置の検討について、など。

---

【2014/07/22】

・化粧品規制協力国際会議(ICCR)第8回 結果概要

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000051627.html>

7月8日から7月10日にかけてオタワ(カナダ)で開催された標記会合の結果が掲載された。主な議題は、

- ・化粧品安全性評価のためのコンピューター予測モデル
  - ・動物試験代替法
  - ・微量不純物
  - ・微生物汚染
- など。

---

●環境省

---

【2014/07/15】

・第5回「化学物質と環境に関する政策対話」の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18400>

8月4日に標記会合が開催される。議題は、

- (1)製品中化学物質に関するリスクコミュニケーションのあり方(仮)
  - (2)ICCM4に向けた進め方について
- など。

---

【2014/07/15】

・中央環境審議会大気・騒音振動部会水銀大気排出対策小委員会(第4回)の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18422>

7月30日に標記会合が開催される。議題は、水俣条約を踏まえた今後の水銀大気排出対策に関する論点(案)について、など。

---

●農林水産省

---

【2014/07/16】

・国内産農産物における農薬の使用状況及び残留状況調査結果について

→ [http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/140716\\_1.html](http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/140716_1.html)

標記の調査結果が掲載された。

---

【2014/07/18】

・ 農薬の審査報告書を追加しました。(ヘキサジノン)

→ [http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n\\_sinsa/pdf/140718\\_hexa\\_zinone.pdf](http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_sinsa/pdf/140718_hexa_zinone.pdf)

標記資料が掲載された。

---

●国土交通省

---

【2014/07/15】

・ 「新下水道ビジョン」の策定について

→ [http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13\\_hh\\_000250.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000250.html)

標記資料が掲載された。「健全な水環境の創造」として化学物質管理に関する施策が取り上げられている。

---

●内閣府食品安全委員会

---

【2014/07/14】

・ 第37回農薬専門調査会評価第一部会 配布資料

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20140714no1>

7月14日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。農薬(トルブロカルブ)の食品健康影響評価について、など。

---

【2014/07/15】

・ 第522回食品安全委員会 配布資料

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20140715sfc>

7月15日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について、など。

---

【2014/07/15】

・食品安全委員会 化学物質・汚染物質専門調査会 化学物質部会(第5回)の開催について

→ [http://www.fsc.go.jp/osirase/kagaku\\_osen\\_chemisub\\_annai5.html](http://www.fsc.go.jp/osirase/kagaku_osen_chemisub_annai5.html)

7月23日に標記会合が開催される。議題は、加熱時に生じるアクリルアミドの食品健康影響評価について、など。

---

【2014/07/16】

・除草剤に係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての意見・情報の募集について

・ジカンバ及びグルホシネート耐性ワタMON88701系統

→ [http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc2\\_gm\\_watamon88701\\_260716.html](http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc2_gm_watamon88701_260716.html)

・アリルオキシアルカノエート系、グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ44406系統

→ [http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1\\_gm\\_daizu44406\\_260716.html](http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_gm_daizu44406_260716.html)

7月16日から8月14日までの間、標記の意見募集が行われている。

---

【2014/07/16】

・第35回農薬専門調査会評価第二部会 配布資料

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20140716no1>

7月16日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、農薬(アシュラム、セダキサン)の食品健康影響評価について、など。

---

【2014/07/17】

・食品安全委員会 器具・容器包装専門調査会(第30回)の開催について

→ [http://www.fsc.go.jp/osirase/kigu\\_youki\\_annai30.html](http://www.fsc.go.jp/osirase/kigu_youki_annai30.html)

7月25日に標記会合が開催される。議題は、フタル酸ベンジルブチル(BBP)に係る食品健康影響評価について、など。

---

【2014/07/17】

・食品安全委員会 添加物専門調査会(第132回)の開催について

→ [http://www.fsc.go.jp/osirase/tenkabutu\\_annai132.html](http://www.fsc.go.jp/osirase/tenkabutu_annai132.html)

7月24日に標記会合が開催される。議題は、グルコン酸亜鉛に係る食品健康影響評価について、など。

---

【2014/07/17】

- ・ 第89回肥料・飼料等専門調査会 配布資料

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20140717ff1>

7月17日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、動物用医薬品・飼料添加物・対象外物質(L-カルニチン)の食品健康影響、など。

---

【2014/07/18】

- ・ 高濃度にジアシルグリセロール(DAG)を含む食用油等に関連する情報

→ [http://www.fsc.go.jp/sonota/dag/dag\\_index.html](http://www.fsc.go.jp/sonota/dag/dag_index.html)

- ・ Q&A

→ [http://www.fsc.go.jp/sonota/dag/dag1\\_qa\\_20140718.pdf](http://www.fsc.go.jp/sonota/dag/dag1_qa_20140718.pdf)

標記ページが更新された。

---

● 国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS)

---

【2014/07/14】

- ・ [国立医薬品食品衛生研究所ニュース]桜新町に国立衛研食品添加物指定等相談センター開設～当所食品添加物部の新しい業務 Ver.3.4～

→ [http://www.nihs.go.jp/nihs/news/syokuhintenkabutsu\\_soudan\\_center\\_20140714.pdf#zoom=100](http://www.nihs.go.jp/nihs/news/syokuhintenkabutsu_soudan_center_20140714.pdf#zoom=100)

標記資料が掲載された。

---

● 農林水産消費安全技術センター (FAMIC)

---

【2014/07/17】

- ・ [メールマガジン]バックナンバーに第542号を掲載しました。

→ [http://www.famic.go.jp/mail\\_magazine/backnumbers/No542.pdf](http://www.famic.go.jp/mail_magazine/backnumbers/No542.pdf)

標記資料が掲載された。

---

【2014/07/18】

- ・ [広報・資料等]の[広報誌]に「新・大きな目小さな目2014年夏号(No.37)」を掲載しました。

→ [http://www.famic.go.jp/public\\_relations\\_magazine/kouhoushi/index.html](http://www.famic.go.jp/public_relations_magazine/kouhoushi/index.html)

標記資料が掲載された。

---

【2014/07/18】

・農薬審査報告書の公表を更新しました。

→ <http://www.acis.famic.go.jp/shinsahokoku/index.htm>

標記資料が更新された。

---

#### ●中小企業基盤整備機構

---

【2014/07/18】

・[J-Net21]REACH コラム:REACHにまつわる最近のニュースから(49)-SVHC、  
附属書XIV収載物質について-

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/column/140718.html>

標記コラムが掲載された。

---

【2014/07/18】

・[J-Net21]RoHS Q.431:RoHS指令が適用される場合について(海外へ輸出せ  
ずに国内のみで使用する製品)

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/rohs/qa/431.html>

標記Q&Aが掲載された。

---

#### ●神奈川科学技術アカデミー(KAST)

---

【2014/07/15】

・KAST教育講座 カテゴリーアプローチ「化学構造と臓器毒性の関係」  
の募集を開始しました。

→ [http://www.newkast.or.jp/kyouiku/edu\\_h26/ed26\\_seminar\\_8.html](http://www.newkast.or.jp/kyouiku/edu_h26/ed26_seminar_8.html)

下記の要領で標記講座を開催します。

日時:平成26年9月9日(火) 14:30~17:00

場所:かながわサイエンスパーク(KSP)内 会議室

定員:50名(先着順)

内容:

- ・「カテゴリーアプローチの概要」及び「化学構造式・置換基と毒性標的臓器－病理学的考察－」など。

---

## ●経済協力開発機構(OECD)

---

【2014/07/15】

- ・ Report of the OECD expert meeting on the physical chemical properties of manufactured nanomaterials and test guidelines

→ [http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=env/jm/mono\(2014\)15&doclanguage=en](http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=env/jm/mono(2014)15&doclanguage=en)

OECDは、2013年2月28日から3月1日にかけてメキシコで開催された工業用ナノマテリアルの物理化学的性状及びテストガイドラインに関する専門家会合での議論の概要と提言をまとめた文章を公表した。

---

【2014/07/18】

- ・ Guidance document on an integrated approach on testing and assessment (IATA) for skin corrosion and irritation

→ [http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=env/jm/mono\(2014\)19&doclanguage=en](http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=env/jm/mono(2014)19&doclanguage=en)

OECDは、皮膚腐食性及び刺激性を適切に評価するため、複数の試験法の組み合わせ評価法(IATA)に関するガイダンス文書を公表した。これを踏まえ、OECD TG404の補遺が更新されることとなる。

---

## ●欧州化学品庁 (ECHA)

---

【2014/07/15】

- ・ ECHA calls for information to avoid unnecessary animal testing

→ <http://echa.europa.eu/information-on-chemicals/testing-proposals/current>

ECHAは、不必要な動物試験を回避するため以下31物質に対する合計65件の試験情報の提出を要請した。コメントの提出期限は、8月29日。

- ・ Cashew (Anacardium occidentale) Nutshell Extract, Decarboxylated(CAS:-)
- ・ Fatty acids, tall-oil, reaction products with formaldehyde and (Z)-N-9-octadecenyl-1,3-propanediamine(CAS:68911-83-1)
- ・ bis(4-tert-butylcyclohexyl) peroxydicarbonate(CAS:15520-11-3)
- ・ m-(2,3-epoxypropoxy)-N,N-bis(2,3-epoxypropyl)aniline(CAS:71604-74-5)
- ・ p-(2,3-epoxypropoxy)-N,N-bis(2,3-epoxypropyl)aniline(CAS:5026-74-4)



- 2,3-epoxypropyl neodecanoate(CAS:26761-45-5)
- 6-tert-butyl-2,4-xyleneol(CAS:1879-09-0)
- Cashew (Anacardium occidentale) Nutshell Extract, Decarboxylated, Distilled(CAS:-)
- Halophosphate(CAS:-)
- Poly [oxy(methyl-1,2-ethanediyl)] , a -hydro-w -hydroxy-, ether with 2-ethyl-2-(hydroxymethyl)-1,3-propanediol (3:1), 3-[[3-dimethylamino propyl]imino]butanoate(CAS:646505-36-4)
- tert-butyl  $\alpha,\alpha$ -dimethylbenzyl peroxide(CAS:3457-61-2)
- 2-(2H-benzotriazol-2-yl)-4-(1,1,3,3-tetramethylbutyl)phenol(CAS:3147-75-9)
- Addition products of m-phenylenebis(methylamine) with reaction mass of 2-(2-(2-butoxyethoxy)ethoxy)ethyl 5-isocyanato-2-methylphenylcarbamate, 2-(2-(2-butoxyethoxy)ethoxy)ethyl 3-isocyanato-4-methylphenylcarbamate and 2-(2-(2-butoxyethoxy)ethoxy)ethyl 3-isocyanato-2-methylphenylcarbamate(CAS:-)
- p-(2,3-epoxypropoxy)-N,N-bis(2,3-epoxypropyl)aniline(CAS:5026-74-4)
- 1,1,3,3-tetramethylbutyl hydroperoxide(CAS:5809-08-5 )
- bis(3,5,5-trimethylhexanoyl) peroxide(CAS:3851-87-4)
- reaction mass of (2-azaniumylethyl)[3-(trimethoxysilyl)propyl]amine chloride (2-azaniumylethyl)(benzyl)[3-(trimethoxysilyl)propyl]amine chloride 3,3-dimethoxy-11-phenyl-2-oxa-7,10-diaza-3-silaundecan-7-ium chloride 7-benzyl-3,3-dimethoxy-11-phenyl-2-oxa-7,10-diaza-3-silaundecan-10-ium chloride 10-benzyl-3,3-dimethoxy-11-phenyl-2-oxa-7,10-diaza-3-silaundecan-7-ium chloride 7,10-dibenzyl-3,3-dimethoxy-11-phenyl-2-oxa-7,10-diaza-3-silaundecan-7-ium chloride(CAS:-)
- tert-butyl peroxyisobutyrate(CAS:109-13-7)
- 2,3-Epoxypropyl neodecanoate, oligomeric reaction products with toluene-4-sulfonic acid(CAS:98362-33-5)
- Cashew (Anacardium occidentale) Nutshell Extract, Decarboxylated, Distillation Residue(CAS:-)
- sodium xylenesulphonate(CAS:1300-72-7)
- 1,3- and 1,4-cyclohexandicarboxyaldehyde(CAS:-)
- 2-(2H-benzotriazol-2-yl)-4,6-bis(1-methyl-1-phenylethyl)phenol(CAS:70321-86-7)
- 3,9-dicyclohex-3-enyl-2,4,8,10-tetraoxaspiro[5.5]undecane(CAS:6600-31-3)
- d-Glucose, ether with glycerol(CAS:100402-60-6)
- diisopropylbenzene hydroperoxide(CAS:26762-93-6)
- sodium/triethanolamine 4-((2-hydroxyethyl)amino)-3-pentapropenyl-4-oxobutanoate(CAS:1424149-03-0)
- Cashew, nutshell liq., oligomeric reaction products with 1-chloro-2,3-epoxypropane(CAS:68413-24-1)
- Quaternary ammonium compounds, C12-18-alkylbis(hydroxyethyl)methyl, chlorides(CAS:71808-53-2)

- ・ biphenyl-4,4'-diol(CAS:92-88-6)
- ・ triethyl phosphonoacetate(CAS:867-13-0)

---

【2014/07/16】

- ・ ECHA e-News - 16 July 2014

→ [http://echa.europa.eu/view-article/-/journal\\_content/title/echa-e-news-16-july-2014](http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/echa-e-news-16-july-2014)

ECHAは、7月16日付けでe-Newsを掲載した。内容は、

- ・ 調和化された分類・表示提案(CLH)の提案物質及び提案意図物質の更新について
  - ・ PIC規則に基づく輸出業者のためのリマインドについて
  - ・ EDEXIMの閉鎖について
- など。

---

●米国環境保護庁 (US EPA)

---

【2014/07/17】

- ・ EPA Introduces New Graphic to Help Consumers Make Informed Choices about Insect Repellents

→ <http://yosemite.epa.gov/opa/admpress.nsf/bd4379a92ceceeac8525735900400c27/a24e659a38c30ede85257d180061ee9d!OpenDocument>

米国EPAは、虫よけ剤の効果が何時間持続するかを示すラベル表示施策(任意表示)を導入したことを発表した。ラベル表示は、消費者が虫よけ剤を購入する際の判断材料として貢献する。

---

●環境展望台：国立環境研究所

---

【2014/07/15】

- ・ ドイツ連邦環境省とドイツ化学工業会、ヒト・バイオモニタリングに新たな評価対象物質を追加

→ <http://tenbou.nies.go.jp/news/fnews/detail.php?i=13922>

ドイツ連邦環境省とドイツ化学工業会は7月7日、ヒト・バイオモニタリングのプロジェクトの中で、2014年に評価対象としてDEHA/DOA、DINA、オクトクリレン、リスメラル(可塑剤2種類、紫外線フィルター、香料)を選定したことを発表した。

---

●セミナー情報

---

【2014/07/15】

- ・【神奈川県科学技術アカデミー(KAST)】 KAST教育講座 カテゴリーアプローチ「化学構造と臓器毒性の関係」の募集を開始しました。

→ [http://www.newkast.or.jp/kyouiku/edu\\_h26/ed26\\_seminar\\_8.html](http://www.newkast.or.jp/kyouiku/edu_h26/ed26_seminar_8.html)

下記の要領で標記講座を開催します。

日時:平成26年9月9日(火) 14:30~17:00

場所:かながわサイエンスパーク (KSP) 内 会議室

定員:50名(先着順)

内容:

- ・「カテゴリーアプローチの概要」及び「化学構造式・置換基と毒性標的臓器－病理学的考察－」など。

---

【2014/07/16】

- ・【製品評価技術基盤機構(NITE)】平成26年度(2014年度)知の市場「製品総合管理特論 製品安全対策の基礎知識」後期日程の募集を開始しました。

→ <http://www.nite.go.jp/jiko/kouza/index2014.html>

下記の要領で標記講座を開催します。

日時:平成26年9月30日~平成27年12月24日 毎週火曜日 18:30~20:30

場所:早稲田大学西早稲田キャンパス

定員:80名(東京会場)

申込締切:9月18日(木)13:00

内容:

- ・製品事故の現状と製品安全対策について  
など。第14回目(平成27年1月20日開催)に化学物質管理政策がトピックとして取り上げられる。

※ 本セミナー情報は、参加費無料のものに限定しております。

\*\*\*\*\*

【NITEケミマガ】をご利用いただきまして、ありがとうございます。

- 【NITEケミマガ】のバックナンバーは、下記HPをご覧ください。

→ <http://www.safe.nite.go.jp/shiryo/chemimaga.html>

- 配信停止をご希望の方は、以下のURLをクリックして下さい。

→ [http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail\\_del.html](http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html)

- 配信先e-mailアドレスの変更をご希望の方は、以下のURLをクリックして配信停止手続きをしていただき、新たに配信登録をお願いします。

配信停止→ [http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail\\_del.html](http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html)

配信登録→ [http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail\\_01.html](http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_01.html)

- ご意見・ご感想・ご要望等は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

[chem-manage@nite.go.jp](mailto:chem-manage@nite.go.jp)

\*\*\*\*\*

- ・【NITEケミマガ】の転送、複写は、読者の組織内に対し全文の転送、複写をする場合に限り、自由に行って頂いて構いません。
- ・組織外への公表・転送、商用利用等につきましては、以下のメールアドレスまでお問い合わせください。

→ [chem-manage@nite.go.jp](mailto:chem-manage@nite.go.jp)

- ・発行元：独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター